

認 定 書

国 住 指 第 1147 号
平成 27 年 8 月 7 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-4111
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材 (不燃材料 (金属板))

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.5 ± 0.35 以下
表面化粧材の質量(g/m^2)	555.0 ± 55.5 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様																								
表面化粧材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙 …厚さ$3.5 \pm 0.35\text{mm}$以下 質量$555.0 \pm 55.5\text{g}/\text{m}^2$以下 (有機質量$190.0 \pm 19.0\text{g}/\text{m}^2$以下) 構成：</p> <p>[1]化粧：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする …質量$30.0 \pm 3.0\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10.0 \pm 1.0\text{g}/\text{m}^2$以下) (1)合成樹脂：質量$30.0 \pm 3.0\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10.0 \pm 1.0\text{g}/\text{m}^2$以下) 構成 ($\text{g}/\text{m}^2$)</p> <table border="0"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">合成樹脂^{*1}.....</td><td style="text-align: right;">10.0\pm1.0以下</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">(但し、ポリエステル系は9.0以下とする)</td></tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{*2} ...</td><td style="text-align: right;">0～20.0\pm2.0</td></tr> </table> <p>(2)なし</p> <p>[2]主素材：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)塩化ビニル系樹脂 ([1]化粧が(2)の場合に限る) …厚さ$2.8 \pm 0.28\text{mm}$以下 質量$385.0 \pm 38.5\text{g}/\text{m}^2$以下^{*3} (有機質量$90.0 \pm 9.0\text{g}/\text{m}^2$以下^{*4}) 構成 ($\text{g}/\text{m}^2$) ^{*3}</p> <table border="0"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">塩化ビニル樹脂.....</td><td style="text-align: right;">67.2\pm6.7以下</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">(但し、合成樹脂^{*1}は0～4.8\pm0.5含む)</td></tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">可塑剤^{*5}・減粘剤 (カルボン酸エステル系).....</td><td style="text-align: right;">32.2\pm3.2以下</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">(但し、減粘剤は0～4.8\pm0.5の範囲とする)</td></tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{*2} ...</td><td style="text-align: right;">5.6\pm0.6以上</td></tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジート)</td><td style="text-align: right;">0～2.9\pm0.3</td></tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">有機質系安定剤 (亜鉛系化合物).....</td><td style="text-align: right;">2.2\pm0.2以下</td></tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">有機質系顔料^{*7}.....</td><td style="text-align: right;">0～1.9\pm0.2</td></tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤).....</td><td style="text-align: right;">0～1.5\pm0.2</td></tr> </table>	合成樹脂 ^{*1}	10.0 \pm 1.0以下	(但し、ポリエステル系は9.0以下とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{*2} ...	0～20.0 \pm 2.0	塩化ビニル樹脂.....	67.2 \pm 6.7以下	(但し、合成樹脂 ^{*1} は0～4.8 \pm 0.5含む)		可塑剤 ^{*5} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系).....	32.2 \pm 3.2以下	(但し、減粘剤は0～4.8 \pm 0.5の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{*2} ...	5.6 \pm 0.6以上	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジート)	0～2.9 \pm 0.3	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物).....	2.2 \pm 0.2以下	有機質系顔料 ^{*7}	0～1.9 \pm 0.2	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤).....	0～1.5 \pm 0.2
合成樹脂 ^{*1}	10.0 \pm 1.0以下																								
(但し、ポリエステル系は9.0以下とする)																									
無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{*2} ...	0～20.0 \pm 2.0																								
塩化ビニル樹脂.....	67.2 \pm 6.7以下																								
(但し、合成樹脂 ^{*1} は0～4.8 \pm 0.5含む)																									
可塑剤 ^{*5} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系).....	32.2 \pm 3.2以下																								
(但し、減粘剤は0～4.8 \pm 0.5の範囲とする)																									
無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{*2} ...	5.6 \pm 0.6以上																								
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジート)	0～2.9 \pm 0.3																								
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物).....	2.2 \pm 0.2以下																								
有機質系顔料 ^{*7}	0～1.9 \pm 0.2																								
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤).....	0～1.5 \pm 0.2																								

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	(2) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下 質量 375.0 ± 37.5 g/m ² 以下 ^{※3} (有機質量 80.0 ± 8.0 g/m ² 以下 ^{※4}) 構成 (g/m ²) ^{※3} 塩化ビニル樹脂 …… 59.7 ± 6.0 以下 (但し、合成樹脂インキ ^{※5} 0~ 4.3 ± 0.4 含む) 可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 28.6 ± 2.9 以下 (但し、減粘剤は0~ 4.3 ± 0.4 の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{※2} …… 4.9 ± 0.5 以上 有機質系発泡剤 (アゾジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリド ^{※7}) ……0~ 2.6 ± 0.3 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 2.0 ± 0.2 以下 有機質系顔料 ^{※7} ……0~ 1.7 ± 0.2 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~ 1.3 ± 0.1
	(3) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下 質量 370.0 ± 37.0 g/m ² 以下 ^{※3} (有機質量 75.0 ± 7.5 g/m ² 以下 ^{※4}) 構成 (g/m ²) ^{※3} 塩化ビニル樹脂 …… 56.0 ± 5.6 以下 (但し、合成樹脂インキ ^{※5} 0~ 4.0 ± 0.4 含む) 可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 26.9 ± 2.7 以下 (但し、減粘剤は0~ 4.0 ± 0.4 の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{※2} …… 4.6 ± 0.5 以上 有機質系発泡剤 (アゾジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリド ^{※7}) ……0~ 2.4 ± 0.2 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 1.9 ± 0.2 以下 有機質系顔料 ^{※7} ……0~ 1.6 ± 0.2 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~ 1.2 ± 0.1
	(4) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下 質量 360.0 ± 36.0 g/m ² 以下 ^{※3} (有機質量 65.0 ± 6.5 g/m ² 以下 ^{※4}) 構成 (g/m ²) ^{※3} 塩化ビニル樹脂 …… 48.5 ± 4.9 以下 (但し、合成樹脂インキ ^{※5} 0~ 3.5 ± 0.3 含む) 可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 23.3 ± 2.3 以下 (但し、減粘剤は0~ 3.5 ± 0.3 の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{※2} …… 4.0 ± 0.4 以上 有機質系発泡剤 (アゾジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリド ^{※7}) ……0~ 2.1 ± 0.2 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 1.6 ± 0.2 以下 有機質系顔料 ^{※7} ……0~ 1.4 ± 0.1 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~ 1.1 ± 0.1

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※8}：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙：</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下 (有機質量100.0 ± 10.0g/m²以下)</p> <p>構成 (g/m²)：1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9} …100.0 ± 10.0以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}24.0 ± 2.4以下とし、かつ有機質量を80.0 ± 3.0以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …13.6 ± 1.4以下 有機繊維^{※9} …72.0 ± 7.2以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を73.0 ± 7.3以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0 \pm 0.1 \sim 26.2 \pm 2.6$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※2} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p> <p>(2) 裏打紙：</p> <p>([2] 主素材が(3)で且つ[1]化粧が(2)の場合、又は[2]主素材が(4)の場合に限る)</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下 (有機質量115.0 ± 11.5g/m²以下)</p> <p>構成 (g/m²)：1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9} …115.0 ± 11.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}27.6 ± 2.8以下とし、かつ有機質量を92.0 ± 9.2以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …15.5 ± 1.6以下 有機繊維^{※9} …82.0 ± 8.2以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を83.0 ± 8.3以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0 \pm 0.1 \sim 30.0 \pm 3.0$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※2} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p>

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>※1:合成樹脂は、エレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鉍物粒及び鉍物粉、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※4:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※5:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エレン・グリコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチル酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。</p> <p>※9:有機繊維は、バルブ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:合成樹脂系繊維は、ナイロン、アラミド、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量 $140 \pm 14 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $100 \pm 10 \text{ g/m}^2$ 以下) 構成: 以下の [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <p>[1] 接着剤及びシーラー</p> <p>(1) 又は (1) と (2) の組合せとする …質量 $60 \pm 6 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60 \pm 6 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>(1) でん粉系接着剤 …質量 $60 \pm 6 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60 \pm 6 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>組成 { でん粉のり …… 80 ± 2 以上 (質量%) 補強剤^{※11} …… 20 ± 2 以下 (又は補強剤なし)</p> <p>(2) シーラー: 合成樹脂^{※12} …質量 $10 \pm 1 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10 \pm 1 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>[2] 防錆処理剤: 鉛・クロムフリーさび止めペイント (JIS K 5674 又は JIS K 5674 同組成品)</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フタル酸系樹脂 …質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>(2) アクリル系樹脂 …質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>2) …質量 $120 \pm 12 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ 以下) 構成: 以下の [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <p>[1] 接着剤及びシーラー</p> <p>(1) 又は (1) と (2) の組合せとする …質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>(1) メチルセルロース系接着剤 …質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>組成 { メチルセルロース …… 80 ± 2 以上 (質量%) 補強剤^{※11} …… 20 ± 2 以下 (又は補強剤なし)</p> <p>(2) シーラー: 合成樹脂^{※12} …質量 $10 \pm 1 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10 \pm 1 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>[2] 防錆処理剤: 鉛・クロムフリーさび止めペイント (JIS K 5674 又は JIS K 5674 同組成品)</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フタル酸系樹脂 …質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>(2) アクリル系樹脂 …質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>※11: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>

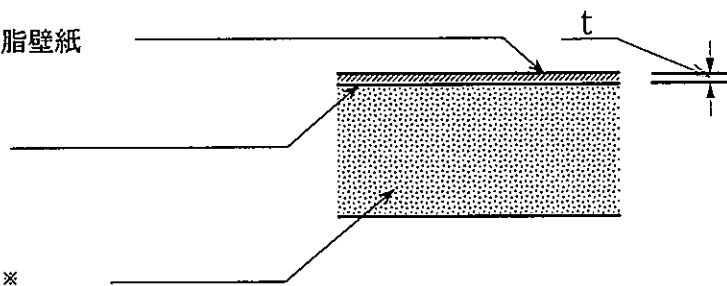
項 目	仕 様
基 材	不燃材料(金属板) 平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの

4. 構造説明図(寸法単位:mm)

1) 表面化粧材:塩化ビニル系樹脂壁紙

2) 接着剤及びシーラー

3) 基 材:不燃材料(金属板)※



$t = 3.5$ 以下

※平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの